

－ さらなる導入メリットの向上 －

下水熱ポテンシャルマップ － マッピングモデル都市の公募とマップ作成手引きの整備

- ① 下水熱利用可能性の高いエリアを地図上に表示する「下水熱ポテンシャルマップ」の作成を希望する自治体(マッピングモデル都市)を公募し、選定
- ② マッピングモデル都市のマッピングに対しては、本協議会下の「下水熱等未利用熱ポテンシャルマップ分科会」において、環境省と連携して同分科会でマッピングを支援
- ③ ②のマッピング過程を検証しつつ、FSの検討段階で活用できる“詳細版”下水熱ポテンシャルマップ作成の手引きを整備

下水熱事業スキームの構築－産官学連携によるwin-winの関係確立

- ① 下水熱の地域利用は未だ事例が少なく、供給側・需要側双方にとってメリットが見える事業スキームは必ずしも確立していない
- ② 産官学による本協議会の連携を活かし、本協議会下に事業スキームに関する分科会を設け、需給マッチング、事業性の確保、PPP/PFIの活用を含めた産官学連携の在り方などの課題について、他の温度差エネルギー利用を含めた事例研究、需要者への調査などにより検討
- ③ 事業スキームモデルを構築し、「下水熱利用プロジェクト推進ガイドライン(案)」をブラッシュアップするとともに、関連制度との連携や具体案件マッチングの場の創設等の利用推進策を検討

シンポジウム等の開催

平成26年度の活動の成果を踏まえ、下水熱利用を推進するため、年度末にシンポジウム等を開催